

# 教育研究業績書

令和 7 年 3 月 31 日

氏名 重村 幹夫

研究分野	研究内容のキーワード
芸術学、美術教育、 幼児造形教育	芸術史、芸術一般、造形あそび、油画、テンペラ

## 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例 特記事項なし		
2. 作成した教科書、教材 特記事項なし		
3. 教育上の能力に関する 大学等の評価 特記事項なし		
4. 実務の経験を有する 者についての特記事項 特記事項なし		
5. その他 特記事項なし		

## 職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許 小学校教諭一級普通免許状 中学校教諭二級普通免許状（美術） 中学校教諭一種免許状（美術） 高等学校教諭一種免許状（美術） 中学校教諭専修免許状（美術） 高等学校教諭専修免許状（美術）	昭和 59 年 3 月 昭和 59 年 3 月 平成 3 年 5 月 平成 4 年 2 月 平成 4 年 5 月 平成 4 年 5 月	昭 58 小 1 普第 86 号 昭 58 中 2 普第 116 号 平 3 中 1 第 17 号 平 3 高 1 第 590 号 平 4 中専第 3 号 平 4 高専第 24 号
2. 特許等 特記事項なし		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項 1. 高大連携授業「スパッタリングで遊ぼう」（於：福井県立三国高等学校） 2. 出前授業「水彩画を楽しく描こう」（於：勝山中部幼稚園） 3. 高大連携授業「マーブリング体験」（於：私立仁愛女子高等学校）	平成 24 年 7 月 平成 24 年 10 月 平成 24 年 9 月 平成 26 年 3 月	モダンテクニックの一つである、スパッタリングを用いて作品を製作する模擬授業。 勝山市幼稚園教育研究会主催。絵本の読み聞かせと、水彩絵具による描画を行なう等の研究授業。 モダンテクニックの一つである、マーブリングを用いて作品を製作する模擬授業。

4.	福井県保育士会研修「子どもの絵大人の絵」(於:パレア若狭研修室、県社会福祉協議会)	平成 25 年 7 月 ~8 月	福井県保育士会主催。10 年未満の保育者。幼児の絵画作品の見方と指導法についての講義や、三原色を用いた水彩画による描画の演習等の研修を行なった。
5.	仁愛女子短期大学教員免許状更新講習「保育内容(造形・言語表現)」(於:仁愛女子短期大学)	平成 25 年 8 月	造形表現分野では、色数を制限した水彩画を描くなどの実践を通して、水彩絵の具の混色やパレット、筆の使い方についての技能習得を行なった。
6.	仁愛女子短期大学主催保育者ワークショップ「『かたち』発見」(於:仁愛女子短期大学)	平成 25 年 10 月	具象絵画と抽象絵画の違いについて理解するとともに、無意識的な行為を通じて、イメージを作り上げ作品とするワークショップを行なった。
7.	教員免許状更新講習(必修)「子どもの変化についての理解」(於:仁愛女子短期大学)	平成 26 年 8 月	共同製作を行うことによって、「他者とのコミュニケーション力」の重要性について理解すると共に、造形活動を通じて平面上の形態や色彩の配置についても技能習得を行なった。
8.	教員免許状更新講習「子どもの遊び`おもちゃと運動~」(於:仁愛女子短期大学)	平成 26 年 8 月 平成 27 年 8 月	子どもの発達段階によるおもちゃの選び方について講義を行なった。
9.	教員免許状更新講習「子どもの表現活動と教育指導ー造形表現を中心としてー」(於:仁愛女子短期大学)	平成 27 年 8 月 平成 28 年 7 月 平成 29 年 7 月	幼児の絵画の指導法について概説するとともに、互いにコミュニケーションをとり、協力して壁画を作る場を設けた。
10.	2015 年度大学連携リーグ連携企画講座「明治前期の油絵技法材料について」(於:アオッサ)	平成 27 年 11 月	大学連携リーグ主催。油絵の技法材料の受容は明治前期に盛んになった。画塾彰技堂の翻訳油画技法書や『高橋由一履歴』、『フォントナーズ講義』等の史料を引用しながら、油絵技法、材料の受容過程を紹介した。
11.	高大連携授業「楽しいおもちゃを作しましょう」(於:武生商業高等学校)	平成 28 年 6 月	割り箸や色画用紙を使って遊べるおもちゃ「パクパクわに」を製作する模擬授業。
12.	新人保育者スキルアップ講座「クレヨンで動物を描きましょう」(於:仁愛女子短期大学)	平成 28 年 7 月	ステンシル技法を使って動物をクレヨンで描いた。
13.	出前授業「絵の具で遊ぼう」(於:わかっか保育園、春江北幼保園、安島幼保園)	平成 28 年 8 月	坂井市保育研究会主催。三原色の絵具や、スポンジ、ローラーを用いた造形遊びの模擬保育。
14.	出前授業「造形を通した子どもとの関わり方」(於:しろのこ保育園)	平成 28 年 8 月	坂井市保育研究会主催。造形を通した子どもとの関わり方について、幼稚園教育要領や「造形遊び」の概念を説明しながら講義を行なった。
15.	出前授業「木で遊ぼう」(於:磯部東保育園、加戸幼保園、宿幼保園、つぼみ保育園、まごころ保育園)	平成 28 年 8 月 平成 29 年 11 月	坂井市保育研究会主催。木や松ぼっくり等の自然素材を組み合わせる造形遊びの模擬保育。
16.	出前授業「造形を通した子どもとの関わり方」(於:坂井松涛保育園)	平成 28 年 8 月	坂井市保育研究会主催。造形を通した子どもとの関わり方について、幼稚園教育要領や「造形遊び」の概念を説明しながら講義を行なった。また、絵具を使った造形遊びの演習も行なった。

17.	高大連携授業「手作りおもちゃで遊びましょう」(於:丹南高等学校)	平成 29 年 3 月	保育者としての心構えの説明や、「プロペラだこ」の製作指導を行なった。
18.	出前授業「幼児造形の指導法」(於:わか保育園)	平成 29 年 7 月	職員の造形に関する質疑応答。保育者と造形表現の関わりへの解説。スポンジ、ローラーを使った絵画表現演習。
19.	出前授業「カラフルテープを使った造形遊び」(於:春江ゆり保育園)	平成 29 年 8 月	坂井市保育研究会主催。カラフルテープを使った造形遊びを行なった。
20.	出前授業「プラスチックダンボールを使った造形遊び」(於:坂井こども園)	平成 29 年 10 月	坂井市保育研究会主催。プラスチックダンボールを使った造形遊びを行なった。
21.	出前授業「絵の具遊び」(於:三国ひかり保育園、まごころ保育園)	平成 30 年 7 月	坂井市保育研究会主催。絵具、スポンジ、ローラー、刷毛等を使った造形遊び。
22.	出前講座「小学校低学年児童が作って遊べる遊具」(於:夢みらい館さばえ)	平成 30 年 7 月	鯖江市民間保育園学童保育研修会主催。学童保育担当の保育士対象に遊具「たこ」の作り方、遊び方の指導を行った。
23.	出前授業「木材遊び」(於:春江ゆり保育園、みくに未来幼保園、春江中保育所)	平成 30 年 8 月 平成 30 年 10 月	坂井市保育研究会主催。グルーガン、角材、枝、発泡剤、カラークラフトテープ、カラー輪ゴム等を使った造形遊び。
24.	出前講座「幼児の造形や既習能力に応じた造形活動のあり方について」(於:春江中コミュニティセンター)	平成 30 年 9 月	坂井市遊びサークル主催。幼児の造形や既習能力に応じた造形活動のあり方について、事前の質問事項に答え、また、保育士が持参した幼児の作品を元に意見を述べた。
25.	出前講座「ホチキス遊び」(於:大関保育園、春江東幼保園、まごころ保育園)	平成 30 年 9 月 平成 30 年 10 月 平成 30 年 12 月	坂井市保育研究会主催。カラードテープ、ホチキス等を使った造形遊び。
26.	出前講座「スタンプ遊び」(於:霞幼保園、春江ゆり保育園、るんびに保育園、米納津保育所、安田幼保園、わか保育園)	平成 31 年 1 月 平成 31 年 2 月	坂井市保育研究会主催。絵の具、スポンジ、ローラー等を使った造形遊び。
27.	出前講座「ホチキス遊び」(於:るんびに保育園)	令和元年 6月17日	坂井市保育研究会主催。カラードテープ、ホチキス等を使った造形遊び。5歳時9名、4歳児13名
28.	浄土真宗本願寺派保育連盟研修会研修「幼児の主体的な造形活動のためにー「造形遊び」ーを中心に」(於:福井西別院)	令和元年 6月29日	浄土真宗本願寺派保育連盟主催。講義、演習。幼児が主体的な造形活動を行うための環境設定について、「造形遊び」を中心に講義、演習を行った。受講生約100名
29.	出前講座「木材遊び」(於:坂井松涛保育園)	令和元年 7月 4 日	坂井松涛保育園独自依頼。廃材を使った造形遊び。育表現演習受講生も手伝いとして参加した。5歳児 33名
30.	免許状更新講習「幼児造形の指導法」(於:仁愛女子短期大学)	令和元年 9月 5 日 令和元年 12月 8 日	幼児造形の指導法について、「造形遊び」と「発達段階の違いによる絵画の見方」の観点から、講義、演習を行った。
31.	出前講座「木材遊び」(於:春江みどり保育園)	令和元年 10月 9 日	坂井市保育研究会主催。廃材を使った造形遊び。5歳児 18名
32.	出前講座「木材遊び」(於:大関保育園)	令和元年 10月 24 日	坂井市保育研究会主催。廃材を使った造形遊び。保育表現演習受講生も手伝いとして参加した。5歳児 25名

33. 出前講座「ビー玉転がし」(於:まごころ保育園)	令和元年12月12日	坂井市保育研究会主催。段ボールや廃材を使った自由工作。4歳児21人
34. 出前講座「ビー玉転がし」(於:春江東幼保育園)	令和2年1月9日	坂井市保育研究会主催。段ボールや廃材を使った自由工作。4歳児24人
35. 出前授業「ダンボール遊び」(於:大関保育園)	令和2年8月4日	坂井市保育研究会主催。段ボール等を使った造形遊び。年中、年長45人
36. 出前授業「ダンボール遊び」(於:霞幼保育園)	令和2年8月19日	坂井市保育研究会主催。段ボール等を使った造形遊び。5歳児18人4歳児12人
37. 出前授業「ダンボール遊び」(於:わかかこども園)	令和2年10月20日	坂井市保育研究会主催。段ボール等を使った造形遊び。5歳児25人
38. 出前授業「ダンボール遊び」(於:まごころ保育園)	令和2年12月2日	坂井市保育研究会主催。段ボール等を使った造形遊び。4歳児24人5歳児18人
39. 出前授業「ダンボール遊び」(於:るんびに保育園)	令和3年1月19日	坂井市保育研究会主催。段ボール等を使った造形遊び。4歳8人5歳13人
40. 出前授業「ホチキス遊び」(於:大関保育園)	令和3年6月15日	坂井市保育研究会主催。カラードテープ等を使った造形あそび。5歳25人
41. 出前授業「ホチキス遊び」(於:もみじ保育園)	令和3年7月19日	坂井市保育研究会主催。幼児造形活動の指導法についての講義。保育士10名
42. 出前授業「木等による造形あそび」(於:春江東幼保育園)	令和3年10月26日	坂井市保育研究会主催。木等を使った造形あそび。4歳23人
43. 出前授業「紙コップによる造形あそび」(於:まごころ認定こども園)	令和3年12月7日	坂井市保育研究会主催。紙コップを使った造形あそび。4歳14人
44. 出前授業「木等による造形あそび」(於:春江みどり保育園)	令和4年3月4日	坂井市保育研究会主催。木等を使った造形あそび。5歳23人
45. 出前授業「木工研修」(於:しろのこども園)	令和4年6月17日	坂井市保育研究会主催。しろのこども園職員15名
46. 出前授業「木等による造形あそび」(於:わかかこども園)	令和4年6月21日	坂井市保育研究会主催。5歳児30人
47. 出前授業「木等による造形あそび」(於:安田幼保育園)	令和4年7月12日	坂井市保育研究会主催。5歳児31人
48. 出前授業「木等による造形あそび」(於:三国まつかぜ保育園)	令和4年7月26日	坂井市保育研究会主催。5歳児22人
49. 出前授業「木工研修」(於:春江中コミュニティーセンター)	令和4年9月9日	坂井市保育研究会主催。坂井こども園職員21人
50. 出前授業「木等による造形あそび」(於:加戸幼保育園)	令和4年9月22日	坂井市保育研究会主催。4歳15人
51. 出前授業「新聞紙による造形あそび」(於:三国松涛こども園)	令和5年10月5日	坂井市保育研究会主催。5歳21人
52. 出前授業「新聞紙による造形あそび」(於:三国南幼保育園)	令和5年11月2日	坂井市保育研究会主催。3~5歳38人

53. 出前授業「紙コップや皿等による造形あそび」(於：鳴鹿幼稚園)	令和5年11月16日	坂井市保育研究会主催。3～5歳21人
54. 出前授業「紙コップ等を使った造形あそび」(於：春江西幼稚園)	令和6年10月10日	坂井市保育研究会主催。5歳38人
55. 出前授業「廃材などを使った工作」(於：「認定こども園大関保育園」)	令和6年10月24日	坂井市保育研究会主催。4歳17人
56. 出前授業「木材などを使った造形あそび(於：まごころ認定こども園)	令和6年10月31日	坂井市保育研究会主催。5歳15人
57. 出前授業「新聞紙による造形あそび」(於：安田幼稚園)	令和6年11月7日	坂井市保育研究会主催。5歳29人
58. 出前授業「新聞紙による造形あそび」(於：るんびに保育園)	令和6年12月24日	坂井市保育研究会主催。4歳11人、5歳12人
4. その他 特記事項なし		

#### 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 1) 画塾彰技堂の講義録『布置経営』と画学類纂『絵事三要－布置法』との関係について－英語原書を元にした比較による－(研究紀要)	単著	平成26年3月	仁愛女子短期大学研究紀要第46号、仁愛女子短期大学(pp. 53-62)	「布置経営」及び「絵事三要－布置法」は、油画解説書であり、画塾彰技堂主、本多錦吉郎による同一英語原書からの翻訳である。「布置経営」の7年後に「絵事三要－布置法」が出版された。原書を基準に2つの翻訳の関係を調べることで、彰技堂の学習環境や、油画受容事情の参考になるのではないかと考えた。その結果、先行研究の通り全く違い関連が無いことが確認された。また、「布置経営」には、彰技堂での学習のあり方を考える上で興味深い、原書には無い塾生による追加記述が多くあった。これらは、原書の内容を咀嚼理解する上で有益であるだけでなく、発展的な記述であると考えられる。
2) 画塾彰技堂の講義録『画図中ノ明暗』と英語原書の比較について(査読付)	単著	平成28年3月	美術教育学研究第48号、大学美術教育学会(pp. 217-224)	画塾彰技堂の講義録『画図中ノ明暗』は、本多錦吉郎が、John Burnetの原書を彰技堂で訳述講義したものである。本考察では、原書を基準に『画図中ノ明暗』の翻訳の傾向を調べた。その結果、明治初年の段階では、原書の引用作品の実物を参考にすることができず、参考図版も不鮮明な場合もあり、本多にとって翻訳が困難で、間違えたり省略したりした部分も見られた。しかし、全体としてはBurnetの意図をよく汲み取った翻訳であると言える。油画技法の翻訳に対しても深い理解が見られた。そして、本多の翻訳には洋画理論の理解

<p>3) 保育者養成課程における造形教育実践についての一考察 - 保育環境に必要な造形の基礎技能の習得を中心に - (研究紀要)</p>	<p>単著</p>	<p>平成 29 年 3 月</p>	<p>仁愛女子短期大学研究紀要第 49 号、仁愛女子短期大学 ( pp. 59- 67)</p>	<p>にとどまらず、英語概念を日本語に取り入れていきたいという思いが感じられた。また、必要に応じ洋画理論と直接関係のない内容の省略を行い、追加記述をして、画塾の講義資料として塾生の理解を助けるための配慮がなされていた。</p> <p>保育者養成課程における造形教育実践について考察した。本考察は、幼児への援助のための「設定遊び」の中の「造形表現」内容を主に記したのではなく、筆者がこれまで行ってきた、保育者として求められる保育環境に必要な造形上の基礎技能の習得の実践について記したものである。内容は、デッサン、色彩理論の基礎。抽象絵画、ダンボールの工作に大別され、それぞれの基礎技能習得の意義と、その実践についての考察を行なった。</p>
<p>4) 0～2 歳児の造形表現活動とその教育的意義について</p>	<p>単著</p>	<p>平成 30 年 3 月</p>	<p>福井県内保育者対象アンケート 調査報告書</p>	<p>仁愛女子短期大学共同研究調査報告書。3 歳以下の子どもでは、自己の物への関わりの行為と結果を確かめる触覚的探索活動が見られ、4～5 歳児には、目的をもった知的探索活動が主に見られるが、実際の幼児の活動は、触覚的探索活動と知的探索活動が複雑に関わっている。 (pp. 77-79) 共著者：増田翼、内田雄、江端佳代、山下清美、木下由香、重村幹夫、乙部貴幸、中尾繁史、野本尚美、田中洋一、前田敬子、香月拓、後久真嗣、賞雅さや子、松川恵子</p>
<p>5) 児造形活動における「見立て」に関する一考察(研究紀要)</p>	<p>単著</p>	<p>平成 30 年 3 月</p>	<p>仁愛女子短期大学研究紀要第 50 号、仁愛女子短期大学 (pp. 69-76)</p>	<p>研究紀要。「見立て」は、言葉の発達や経験によるイメージの蓄積と関係があり、その重要性は明らかである。幼児にとって、五感を使った探索活動を伴う活動の中で喚起される「見立て」と「仕立て」との複合的な往還の過程で、新たに作り直されるイメージが、「新しい意味生成」としての創造行為であると考えられる。</p>
<p>6) “John Burnet , Practical hints on light and shade in painting, 1829” の翻訳について</p>	<p>単著</p>	<p>平成 31 年 4 月</p>	<p>仁愛女子短期大学研究紀要第 51 号、仁愛女子短期大学 (pp. 71-90)</p>	<p>研究ノート(研究紀要)。 “John Burnet, Practical hints on light and shade in painting, 1829” を翻訳し、その全文を掲載した。また、原書の図版は、不鮮明であるので、特定できたものは、鮮明な図版に差し替えた。また、参考図版を追加した。</p>
<p>7) “John Burnet, Practical hints on colour in painting, 1830” の翻訳について</p>	<p>単著</p>	<p>令和 2 年 3 月</p>	<p>仁愛女子短期大学研究紀要第 52 号、仁愛女子短期大学 (pp. 91-126)</p>	<p>研究ノート(研究紀要)。 “John Burnet, Practical hints on colour in painting, 1830” を翻訳し、その全文を掲載した。また、原書の図版は、不鮮明であるので、特定できたものは、鮮明な図版に差し替え</p>

8) コロナ禍における実技・演習系の面接授業について	単著	令和3年3月	2020年度ブランディング事業『報告書』保育者養成のこれから～キャリア・ルーブリックの作成とコロナ禍における養成の在り方～	た。また、参考図版を追加した。 コロナ禍における造形の面接授業設定の実践報告。
9) “Aaron Penley, SKETCHING FROM NATURE IN WATER COLOURS, 1870” の翻訳について	単著	令和3年3月	仁愛女子短期大学研究紀要第53号、仁愛女子短期大学(pp.71-98)	研究ノート(研究紀要)。 “Aaron Penley, SKETCHING FROM NATURE IN WATER COLOURS, 1870” を翻訳し、その全文を掲載した。内容は風景水彩スケッチの技法、技術の解説であり、風景スケッチを描くうえで有意義である。
10) 画塾「彰技堂」の講義録「水彩寫景指南」と英語原書の比較について -技法・材料の観点から-	単著	令和5年3月	仁愛女子短期大学研究紀要第55号、仁愛女子短期大学(pp.25-33)	研究紀要。筆者は、これまで明治初年の油画受容や技法・材料事情を考察してきた。ここでは、「水彩寫景指南」と英語原書の比較を行い、その翻訳の傾向からこれまでと同様に考察した。その結果、明治17年(1884)2月より前の画塾「彰技堂」主、本多及びその翻訳の読者、塾生周辺の油画・技法材料環境は、筆者がこれまで考察してきたように、その理解は進みつつあったが、必ずしも容易に入手できない状況が続いていたと考えられる。
11) 画塾「彰技堂」の講義録『チ、ハットン』氏水彩実景摸寫法」と英語原書の比較について	単著	令和6年3月	仁愛女子短期大学研究紀要第56号、仁愛女子短期大学(pp.49-57)	研究紀要。英語原書と翻訳の傾向の分析を通じて、明治初年の洋画受容について推測した。
12) 画塾「彰技堂」主、本多錦吉郎編輯「鉛筆畫法」と英語原書の比較について -技法、材料を中心に-	単著	令和7年3月	仁愛女子短期大学研究紀要第56号、仁愛女子短期大学(pp.-)	英語原書と翻訳の傾向の分析を通じて、明治初年の洋画受容について推測した。また、別の刊行図書、及びその続編と思われる筆写本との関係について示した。
(その他) 〈作品制作〉				
1) 変容 I	単著	平成24年6月	2012北陸二紀展、金沢県立美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。 オールオーバーに近い構図を用いて、中央に大きな量を描いた作品。
2) 変容 II	単著	平成24年10月	第66回二紀展、国立新美術館	F130号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。 縦構図で、中央に左右対称の大きな量を描き、神聖な感じが出るようにした。
3) 変容	単著	平成25年2月28日～3月6日	第3回UNI展 - 8人の視座 -、ギャラリー絵夢	画廊企画。 F100号(162.0×130.3cm)、混合技法、パネル。 全体をオールオーバーに近い平面的な構図とした。中心に渦のような形を描き、幻惑するような表現とした。

4) 「変容Ⅲ」	单著	平成 25 年 3 月 10 日～3 月 17 日 5 月 14 日～5 月 19 日	第 11 回春季二紀展、東京都美術館 2013 年春の北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F120 号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。 中央下部に円形を置き、周囲に拡散するムーブマンを与えた作品。
5) 「変容Ⅰ」	单著	平成 25 年 10 月 16 日～10 月 28 日	第 67 回二紀展、国立新美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。 祭壇の形状を中央に描き、左右に垂直の形体をシンメトリーに加えた。
6) 「変容Ⅱ」	单著	平成 26 年 8 月 5 日～8 月 10 日	2014 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。 垂直方向の上昇感を強調して描いた作品。
7) 「変容Ⅰ」	单著	平成 26 年 10 月 15 日～27 日	第 68 回二紀展、国立新美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。 オールオーバーに近い構図を用いた作品。無作為に置いた絵の具から、環状の形体を描き出した。
8) 「変容Ⅰ」	单著	平成 27 年 8 月 4 日～9 日	2015 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。 オールオーバーに近い構図から、球状の形体を描き出した。
9) 「変容Ⅱ」	单著	平成 27 年 10 月 14 日～26 日	第 69 回二紀展、国立新美術館	F130 号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。 オールオーバーに近い構図にストロークを用いた作品。
10) 「森Ⅰ」	单著	平成 28 年 8 月 9 日～13 日	2016 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F120 号((112.0×194.0 cm)、鉛筆、パネル 池田町の森林風景を描いた作品。
11) 「森Ⅱ」	单著	平成 28 年 10 月	第 70 回二紀展、国立新美術館	F120 号((112.0×194.0)、鉛筆、パネル 池田町の森林風景を描いた作品。
12) 「森」	单著	平成 29 年 8 月 平成 29 年 10 月	2017 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館 第 70 回二紀展、国立新美術館	F130 号(194.0×162.0 cm) 鉛筆、パネル。 池田町の森林風景を描いた作品。
13) 「森Ⅰ」	单著	平成 30 年 8 月	2018 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。 幻想的な森と人物を組み合わせた作品。
14) 「森Ⅱ」	单著	平成 30 年 8 月 平成 30 年 10 月	2018 北陸二紀展、金沢 21 世紀美術館 第 71 回二紀展、国立新美術館	F130 号(194.0×162.0 cm) 鉛筆、パネル。 池田町の森林風景と人物を組み合わせた作品。
15) 「冬の日」	单著	平成 31 年 3 月	第 14 回春季二紀展	F120 号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。 草の生えた地面を描いた作品。
16) 「池田町の山」	单著	令和元年 7 月	2019 北陸二紀展、石川県立美術館	F130 号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。池田町の森林風景。

17) 「樹木」	単著	令和元年10月	第72回二紀展、国立新美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。河川堤防の樺を描いた作品。
18) 「池田町の山」	単著	令和3年6月 令和3年10月 令和4年4月	2021北陸二紀展、石川県立美術館 第74回二紀展、国立新美術館 第44回カカ斜展、福井県立美術館	F130号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。池田町の森林風景。
19) 「池田町の森」	単著	令和3年6月	2021北陸二紀展、石川県立美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。池田町の森林風景。
20) 「森」	単著	令和4年3月	第15回春季記念二紀展 東京都美術館	F120号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な森林風景。
21) 「美山町の杉」	単著	令和4年7月	2021北陸二紀展、石川県立美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。美山町の森林風景。
22) 「九頭竜川」	単著	令和4年10月 令和5年4月	第75回二紀展、国立新美術館 第45回カカ斜展、福井県立美術館	F120号(194.0×162.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な風景。
23) 「5月」	単著	令和5年6月	第75回記念二紀展金沢展、金沢21世紀美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な森林風景。
24) 「7月」	単著	令和5年10月	第76回二紀展、国立新美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な森林風景。
25) 「5月(小)」	単著	令和6年3月	第16回春季記念二紀展 東京都美術館	F50号(116.7×91.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な植物
26) 「4月Ⅰ」	単著	令和6年8月	第76回北陸二紀展、学びの杜ののいちカレード	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な風景
27) 「4月Ⅱ」	単著	令和6年10月	第776回二紀展、国立新美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な風景
28) 「10月」	単著	令和7年3月	2025 第46回 カカ斜展、福井県立美術館	F130号(162.0×194.0cm)、混合技法、パネル。幻想的な風景
(その他) 〈口頭発表〉				
1) 画塾彰技堂の講義録『布置経営』と画学類纂『絵事三要－布置法』との関係について－英語原書を元にした比較による－	単独	平成26年10月	大学美術教育学会福井大会研究(口頭発表)概要集 p.59	本発表は、「仁愛女子短期大学研究紀要」,第46号,pp53-62,2014にて執筆発表したものを、再度口頭発表したものである。
2) 画塾彰技堂の講義録『画図中ノ明暗』と英語原書の比較について	単独	平成27年9月	大学美術教育学会横浜大会研究(口頭発表)概要集 p.76	本発表は、同一題目の論文を、美術教育学研究第48号(217-224頁)に投稿、掲載する前に口頭発表したものである。

3) 幼児造形活動における「見立て」に関する一考察（単独発表）	単独	平成 30 年 3 月	美術科教育学会滋賀大会研究発表概要集 p.74	本発表は、「仁愛女子短期大学研究紀要」, 第 50 号, pp69-76, 2018 にて執筆発表したものを、再度口頭発表したものである。
4) 画塾「彰技堂」の講義録「水彩寫景指南」と英語原書の比較について — 一技法・材料の観点から —	単独	令和 6 年 3 月	美術科教育学会弘前大会研究発表概要集 p.22	本発表は、「仁愛女子短期大学研究紀要」, 第 55 号, p. p. 25-33, 2023 にて執筆発表したものに加筆して、再度口頭発表したものである。